

～ リスク図の活用でわかりやすくリスク評価 ～ 情報セキュリティ監査の実践

対象

■内部監査部門の方 ■情報システム部門の方 ■総務・経営企画部門の方

開催趣旨

情報通信技術の進歩は業務の生産性や利便性を向上させる一方で、企業や団体における情報セキュリティの確保が必要不可欠になっています。従来型のウイルス対策や不正アクセス対策だけではなく、サイバーセキュリティ対策も必要になっています。さらに、子会社などを含めた企業グループ全体の情報セキュリティの確保が常に求められるようになり、その実効性を点検・評価するための情報セキュリティ監査の重要性が増しています。

本セミナーでは、リスク図を活用し、自社でどのような情報セキュリティ監査を実施すればよいのか実践的に学んでいきます。また、クラウドサービス、AI、SNS などの環境下における情報セキュリティ監査の進め方についても解説します。

本セミナーのゴール

- ① 情報通信技術の進化に伴う新たなリスクを認識し、企業グループ全体で情報セキュリティを確保する必要性が理解できます。
- ② リスク図を活用して効果的な監査を実施する方法が習得できます。
- ③ クラウドサービス、AI、SNS、RPA などの新技術における情報セキュリティ監査のポイントを理解し、具体的な対策方法を学ぶことができます。

日時

<LIVE 配信> 2025年7月8日(火)10:00~17:00
<見逃し配信> 2025年7月15日(火)~7月23日(水)
※見逃し配信のみのご受講でもお申込みいただけます

講師

東洋大学工業技術研究所客員研究員
(元)東洋大学総合情報学部教授
公認情報システム監査人/公認内部監査人
(元)東京ガス(株) 監査部情報システム監査グループマネージャー
しまだ ゆうじ 島田 裕次氏

参加料 (負担金)

NOMA会員 35,200円(税込)/名
一般 42,900円(税込)/名

申込方法

■株式会社ファシオが運営するサイト Deliveru からご受講いただきます。
お申込みは、Deliveru、本会 HP のどちらからでも可能です

■Deliveru から申込

- ① Deliveru [https://shop.deliveru.jp/]でセミナーを検索し
- ② セミナー詳細ページにある「注文する」からご購入ください
(お支払方法:クレジットカード払い、pay-easy、コンビニ振込)
- ③ 購入後、確認メールが届きます

■本会 HP から申込

- ① 本会 HP[https://www.noma.or.jp/]でセミナーを検索し
- ② 「WEB 申込」からお申込みください
- ③ 申し込み後、確認メールが届きます。後日、請求書と参加券が郵送で届きます(お支払方法:請求書による銀行振込)

見逃し配信 & 4画面配信

いつでもどこでも何度でも受講できる
見逃し配信付きです!

- ①見逃し配信では
 - ・見逃し配信期間でも、講師へ質問が可能です
 - ・繰り返しご受講でき、講義の復習もできます
 - ・チャプター形式で好きな場所から見返せます
 - ・倍速機能で効率よく学習できます
- ②資料はデータ提供です
- ③ご自身で拡大したい画面を選択できます。
マルチデバイスにも対応しております



NOMA HP

日本経営協会 セミナー 🔍 検索

受講方法

- ・登録メールアドレスに、受講 URL/ID 等詳細のご案内が届きます(Live 配信日の概ね 3 営業日前)
- ・カメラ、マイクのご準備は不要です
- ・テキストのダウンロードは、LIVE 配信日の3~1 営業日前にサイト内でできるようになります
- ・セミナーの録音・録画や資料の複製、お申込みいただいていない方の閲覧等は固くお断りいたします
- ・受講証明書はサイト内でダウンロードしていただけます

キャンセルポリシー等

- ・開催日の5営業日前~当日のキャンセル・ご欠席は参加料の 100%をキャンセル料として申し受けます。
- ・天災その他の不可抗力等により講師が登壇できない場合、講師の変更または延期させていただく場合がございます。

主催・担当

一般社団法人 日本経営協会 本部事務局 企画研修 G
(東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-31-11 住友不動産新宿南口ビル 13 階) tms@noma.or.jp

申込問合せ

株式会社ファシオ ☎ 03-6304-0550(平日 10 時~17 時) ✉ bcs-info@vita-facio.jp

プログラム

はじめに。

情報セキュリティ監査の必要性和求められる役割

I. 情報セキュリティ監査の難しさ

- ・新たな情報通信技術の導入と新しいリスクの出現
- ・監査対象の広範囲化、複雑化

II. リスク図によるアプローチ

- ・チェックリスト方式の限界
- ・リスク図を活用した監査の利点

III. 情報セキュリティに関わるリスク

- ・情報セキュリティの定義
- ・事例で見る情報セキュリティリスク
- ・リスク評価の方法

IV. 情報セキュリティ対策(コントロール)

- ・予防対策、発見対策、回復(復旧)対策
- ・物理的対策、技術的対策、管理的対策

V. 情報セキュリティ監査の進め方

- ・リスク評価の適切性
- ・情報セキュリティ対策の適切性
- ・リスク図を用いた監査手続書の作成

VI. テーマ別の情報セキュリティ監査

- ・アクセス管理(ID・パスワード管理、ログ管理)
- ・サイバー攻撃対策
- ・機器・媒体管理
- ・外部委託管理
- ・BCP/BCM
- ・クラウドサービス
- ・AI
- ・RPA

VII. 質疑応答

講師著書の「情報セキュリティの基本」

(日本実業出版社)を進呈します。

また、当日教材としても使用します。

※書籍については別途郵送いたします。

※最新の動向・情報を盛り込むため、内容を一部変更させていただく場合がございます。

講師紹介

東洋大学工業技術研究所客員研究員 (元) 東洋大学総合情報学部教授

公認情報システム監査人/公認内部監査人

(元) 東京ガス(株) 監査部情報システム監査グループマネージャー

しまだ ゆうじ
島田 裕次氏

【講師略歴】

1979年早稲田大学政治経済学部卒業、同年東京ガス(株)入社、IT部門、監査部、経理部などで勤務し、2009年～2022年東洋大学総合情報学部教授、2022年～現職。1999年より日本大学商学部非常勤講師(科目:コンピュータ会計論)。博士(工学)、公認内部監査人(CIA)、情報処理技術者試験委員、システム監査技術者(経済産業省)、公認情報システム監査人(CISA)、公認情報セキュリティマネージャー(CISM)。

【主な著作】

『不正・不祥事のメカニズムと未然防止-不正のトライアングル・内部統制・3線モデルから見た対策とチェックリスト-』(日科技連出版社)、
『はじめての内部監査』(日科技連出版社)、
『内部監査の実践ガイド』(日科技連出版社)、
『リスク図による情報セキュリティ監査の実践』(同文館出版)、
『DX時代の内部監査手法 -アジャイル型監査・リモート監査・CAATs-』(同文館出版)、
『情報セキュリティ・個人情報保護のための内部監査の実務』(編著 日科技連出版社)、
『システム監査の実務解説(第4版)』(同文館出版)、

メールマガジンのご登録



新規講座や申込を開始したセミナーを定期的にご案内しております。ご興味のある方はぜひご登録をお願いいたします。



メールマガジン登録用QR

登録はこちら→

※年間の講座スケジュールを本会 HP で公開しております。

TOPICS 事業のトピックス

本会 HP 画面です

民間向けセミナー:

令和6年度(2024年度)「年間開催計画」

本部事務局(東京) / 関西本部 / 中部本部 / 九州本部 / 北